国際ロータリークラブ第2730地区　日南ロータリークラブ

週　　報

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

「ロータリーの原点に戻る」

例会日　毎週水曜日　12：30～　　例会場　ホテルシーズン日南
住所　日南市園田3-11-1　TEL 0987-22-5151　FAX 0987-22-9588　　会長　豊田裕康

第3273回例会		№03	2021.07.28	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12時30分　「それでこそロータリー」			
四　つ　の　テ　ス　ト	守永裕一　君			
例　会　行　事	2020～21年度100%出席者表彰式			

会長時間

本日は「ロータリーの重点分野」についてお話しようと思います。ロータリーの重点分野については，７つの指定された事項について各クラブにおいて重点的に活動することが求められています。①平和構築と紛争予防，②疾病予防と治療，③水と衛生，④母子の健康，⑤基本的教育と識字率向上，⑥地域社会の経済発展，⑦環境の保全と保護の７つで，昨年度指定されたばかりの⑦環境の保全と保護以外については特別月間が指定されており各月間にお話しをしますので，本日は⑦環境の保全と保護についてお話しします。

近年，ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）への取り組みが世界的に求められていますが，国際ロータリーにおいても持続可能な社会の実現のための活動として，環境の保全と保護に重点的に取り組むこととなりました。新たな重点分野は，ＳＤＧｓのうちの13～15番の目標である「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさも守ろう」という目標を実践するものです。

ちょうど先日ＮＨＫの番組を見ていましたら，持続可能な社会の実現のためには，現在の食肉を大量に生産・消費する生活は続けられず，タンパク質を魚でとることの多い日本人でも食肉摂取を７割削減しなければ2050年には社会が維持できなくなるということです。

なぜ食肉の生産・消費を削減しなければならないかというと，世界中で排出される温室効果ガスの15パーセントが反芻動物である家畜からのもので，本来貧困地域の人たちの飢餓を救うことができるはずの世界の穀物生産量の3分の1が家畜の餌として消費されているからです。１キロの食肉を生産するのに25キロの穀物が必要で，25キロの穀物生産のためには22000リットル（お風呂約100杯分）の水が必要となるということです。

大量生産のため，化学肥料を大量に使用して大規模機械により深く土壌を耕す農法がとられており，微生物の豊富な表土が削り取られた劣化した土地は，回復不可能なほど荒廃しつつあります（本来微生物の働きにより植物が育つところを化学肥料で無理矢理育てている）。時折ニュースになることがありますが，北海道の広大な農地の間を通っている高速道路が砂嵐で視界不良になり多重衝突事故が発生することが頻発しています。劣化した土壌は，強風が吹くと簡単に表土が舞い上がって砂嵐が巻き起こり，再度肥沃な土壌に戻すことは考えられないほど難しいということです（北海道は世界中の地域の中で土壌の劣化した地域と区分されています）。また，現在の地下水消費を続けると，2050年には世界中の7割の土地で地下水が枯渇し穀物生産が不可能になるとされており，西日本がその危険のある地域とされています。

そのため，現在国連が中心となって，表土を深く耕さずに下草を残す農法である不耕起栽培を広める活動をしています。不耕起栽培により，微生物の豊富な表土を失うことなく，下草を残すことで草刈りの手間を省き水分の蒸発を防ぐことができるということです。現在，世界中の農地の5%程度ということですが，国土の荒廃が特に進んでいるアメリカでも導入が進んでいるということです。

持続可能な社会を実現するために現在大量の食肉を消費している地域の人たちが今後モデルとすべき食事がテレビで紹介されていましたが，食事の半分が野菜で，タンパク質は豆類や魚で摂取し，食肉は原則食べないようにすべきとのことでした。どうしても食肉を摂取するのであれば牛豚肉は週に98グラム，鶏肉なら203

グラムが限度ということで，週に一回野菜炒めに少しお肉を入れる程度になると思います。

現在，世界中で食肉の生産・消費を削減すべきとの運動がおきており，アメリカでは日本でいうクックパッドにあたるような大手人気料理サイトで牛肉レシピの掲載を全面停止しています。このサイトは，「私たちの決定は，持続可能性に関するもので，世界で最悪の気候犯罪者の１人に出番を与えないためです。」といって，牛肉のことを世界で最悪の気候犯罪者と名指ししています。

世界では今申し上げたように食肉の生産・消費を削減しようという運動が進んでいるのですが，日本の小泉環境大臣が国連本部での気候変動サミットに出席した際，ニューヨークでステーキを食べて「毎日でも食べたい」と発言して国際的批判（嘲笑）を浴び，日本の国際感覚の欠如を露呈してしまいました。

食肉生産が主要産業である宮崎県としては困った話しですが，今のままの生活を続けると，人間の生存のために必要な量の穀物が今後30年以内に確保できなくなることが確実とされている以上，持続可能な社会を実現するためには，牛豚鶏等の食肉生産・消費を削減するという国際的な流れに逆らうことは難しいのではないかと思います。

ただ，過激な環境保護団体が言うように，いきなり食肉を食べるのを一切やめてベジタリアンになるのは無理だと思います（オリンピックの開会式会場付近で，鶏卵業者が鶏を虐待しているから卵を食べるなとプラカードを掲げて抗議活動をしていた人たちをテレビで見た方もいらっしゃると思います）。

一方で，一旦分岐点を超えてしまうと後戻りはできなるわけで，後になって，あのときちゃんと対策をしていればと後悔しないよう，1人1人が食肉の消費量を少しずつ減らす努力をしていくことは必要ではないかと思います。ただ，この分岐点が2030年とされており，私達の生活スタイルを変えるまでの猶予はあまり残されていません。世界人口が100億人を突破すると予測されている2050年に全ての人たちが生活できる社会を残すのが現在生きている人間の義務ですので，会員の皆様も常日頃からの心がけをお願い致します。

委員会報告

社会奉仕委員会　8/3 道路愛護デー環境美化運動の最終案内

親睦委員会　誕生者　小玉　淳君（1943）

結　婚　菊池希樹君（1993）榎木田大資君（2005）齋藤奈々君（2009）

スマイル

古澤昌子君　念願のニューヨークへの輸出が成りました。MRT で取り上げて頂きました。

例会行事　　2020～21 年度 100％出席者表彰式

本日は、結婚誕生者卓話と 100％出席者表彰式の予定でしたが、結婚誕生者卓話の当事者が全員欠席の為、2020～21 年度 100％出席者表彰式だけが行われました。20 名のメンバーが 100％出席でした。その内、鬼束忠男君と豊田裕康君のお二人がホームクラブ 100％出席です。

100％出席者

石崎智則君、石灘寛樹君、井野畑善順君、入中英雄君、榎木田大資君、鬼束忠男君、河野通郎君、菊池希樹君、黒岩久登君、竹井崇利君、田島逸男君、土屋昭次君、豊田裕康君、野崎正彦君、日高章太郎君、峰松俊夫君、村社浩二君、守永裕一君、築瀬　敦君、山口秀一君

新型コロナのお話　　峰松俊夫君

感染症の拡大を考える上で「再生産数」という指標があります。再生産数とは、「一人の感染者が感染力を有する期間に他者にうつす二次感染者数」のことです。これを式にすると、「再生産数」＝「一人の感染者が１日あたりに接触する人数」×「一人の感染者が１人に接触した時に感染が起こる確率」×「感染力を有する日数」となります。このことから再生産数を減少させる、つまり感染拡大を防ぐには、(1)感染者と接触する人数を減らし、(2)感染が起こる確率を下げ、(3)感染力を有する日数を短くする対策が有効ということになります。コロナウイルス感染症を例に具体的な感染対策を図にしてみましたので、ご参照ください。

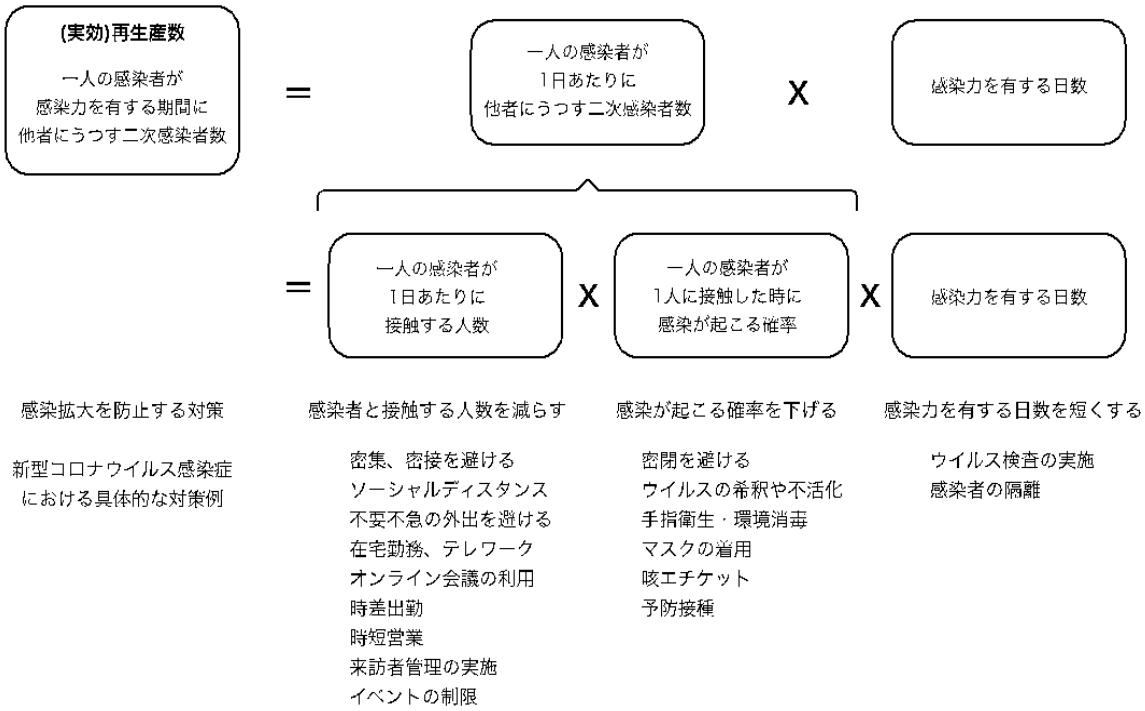

図　(実効)再生産数から考える感染対策

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	ＨＣ出席	MU	欠席	出席	出席率
今　週	32	6	26	22	2	2	24	92.30%
出席免除	落丸、村上、清水、渡邊、小玉、山口							
先取MU	榎木田、菊池							
欠　席	斉藤、齋藤(奈)							

事務局〒887-0014　日南市岩崎3-4-2 Itten堀川ビル2F創客創人センター内TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515
会長：豊田裕康　　副会長：入中英雄　　幹事：簗瀬敦　　雑誌会報広報委員長：河野通郎
雑誌会報広報委員会より　　原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。